

15th
Anniversary

第12回井上春成賞受賞
第57回工業技術賞受賞

無機
の
耐久
性

有機
の
信頼
性

ナノコンポジットW
nano composite W

1
1,000,000mm



MIZUTANI
NANOTECHNOLOGY



信頼の出荷実績！ 約110,000戸

ナノコンポジットWは2004年に発売し、
商業施設、店舗、飲食店、マンションや戸建住宅など
様々な物件にお使いいただいております。
2004年から2018年までの出荷量を戸建住宅塗装で
換算すると約110,000戸に相当します。

商業施設



飲食店・店舗



採用の決め手!

超低汚染
でキレイが
長持ち!

優れた
耐候性
を実現!

仕上がり
3分艶で
落ち着いた
質感!

2019年
グッド・ペインティング・カラー受賞

戸建住宅

病院

マンション

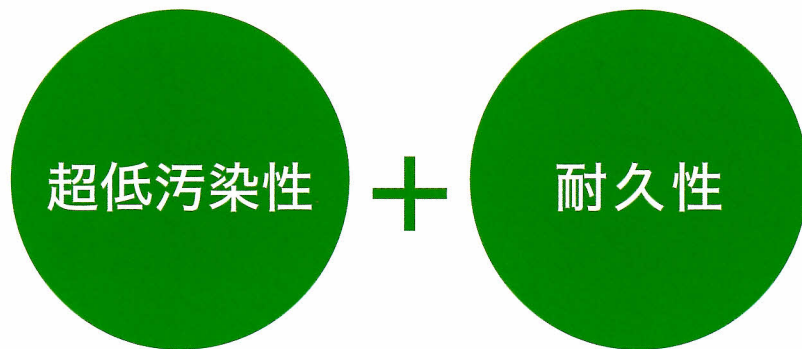


鉄道駅

ナノテクノロジーを駆使した
ニュータイプの無機系塗料。

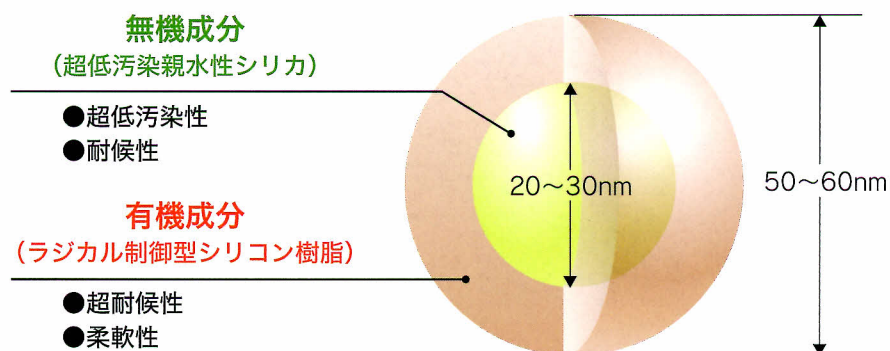


コンポジット
無機成分と有機成分をナノレベルで**複合**し、
超低汚染性と耐久性を両立した無機系塗料!



ナノコンポジットW樹脂モデル

ナノテクノロジーで無機成分を有機成分で包み
超低汚染性と耐候性の両立を可能にしました。



有機成分で無機成分を包むことによって樹脂同士がより密に密着し、
強靱な塗膜を形成することに成功。さらに、無機成分に親水性で汚れ
にくいという特長を持つシリカを採用することで、超低汚染性と優れた
耐久性を発揮します。

塗料が変わる、世界が変わる
超微粒子の世界、ナノテクノロジー。

technology

nano composite W

ナノコンポジットWの塗膜断面図



1: シリカ
2: 顔料

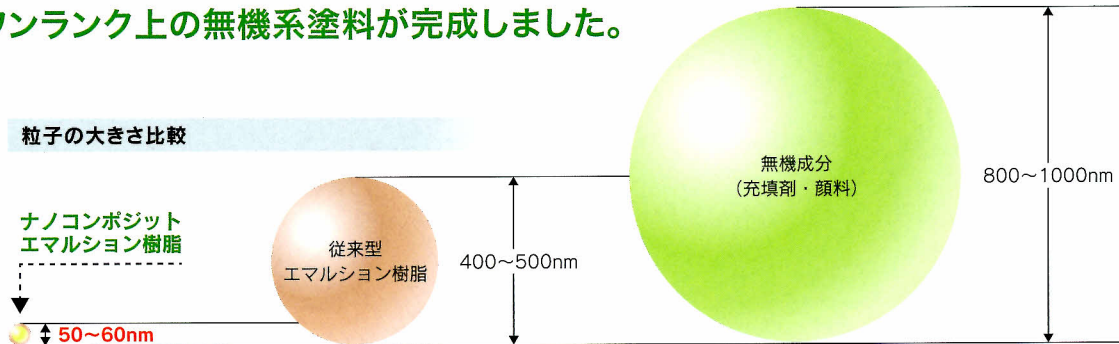
100nm

100nm

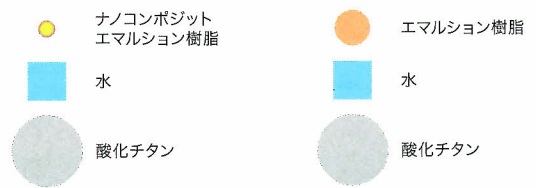
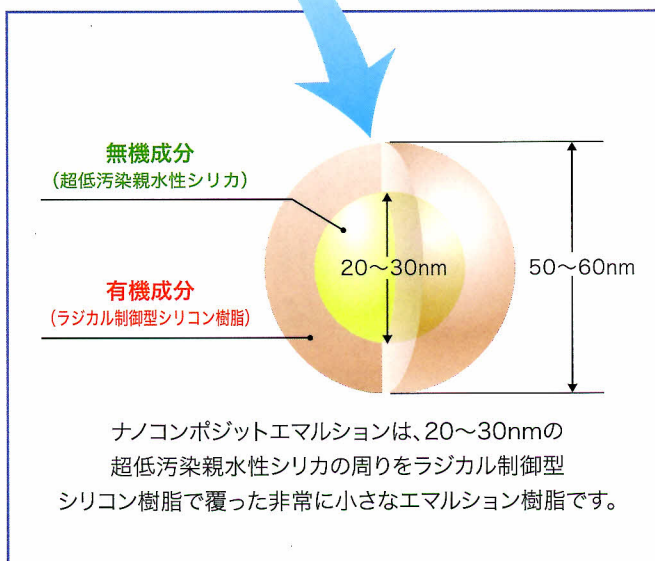
ナノコンポジットエマルジョン樹脂
電子顕微鏡写真

ナノテクノロジーで 無機と有機の性能を最大限まで引き出す。

塗膜中に超微粒子シリカをナノレベルで
緻密かつ均一に分散させる事で、
ワンランク上の無機系塗料が完成しました。

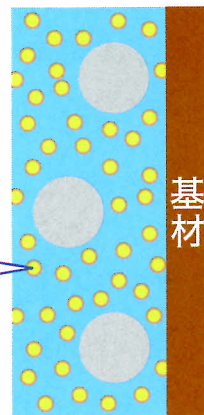


ナノコンポジット エマルジョン樹脂 について

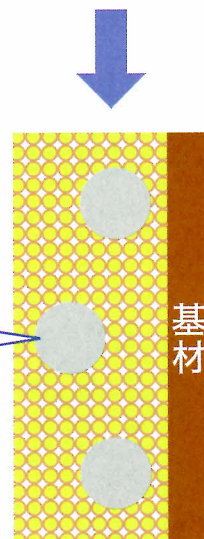


ナノコンポジットW

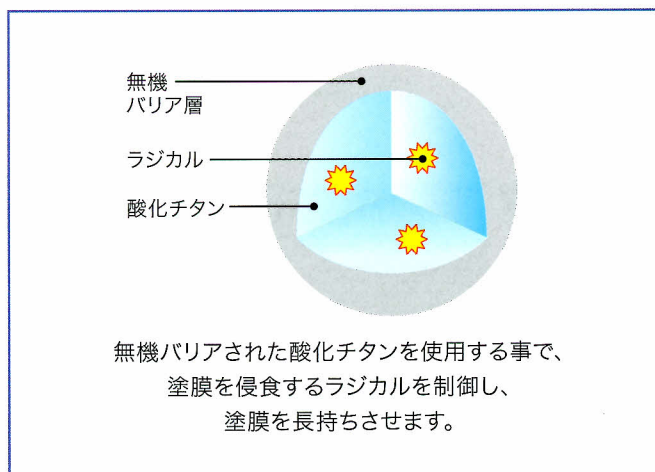
従来の水系塗料



乾燥



ラジカル制御型 酸化チタンについて



**超微粒子シリカが
緻密な塗膜を形成、
高性能を発揮!**

樹脂が大きいため、
密な塗膜を形成できない。

6つの機能



超低汚染性 キレイが長持ち

ナノコンポジットWは
セルフクリーニング機能により
汚れの付着を防ぎます。

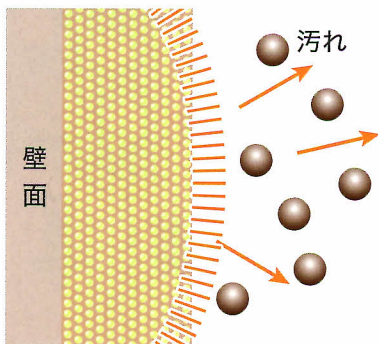


塗装前

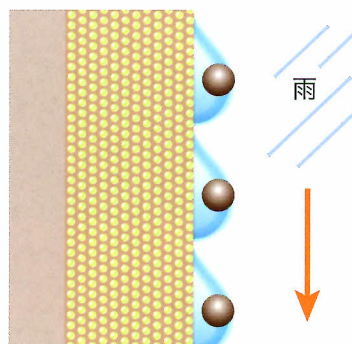


塗装後5年経過

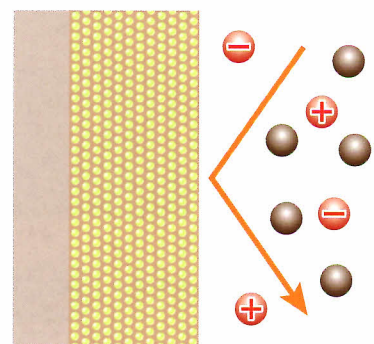
セルフクリーニング 機能のメカニズム



緻密に分散したシリカ粒子が
汚れの侵入をブロック!



親水性の塗膜が
降雨により汚れを洗い流す!



シリカ粒子が静電気の
帯電を防ぎ汚れの付着を防止!

■ : 樹脂 ● : シリカ

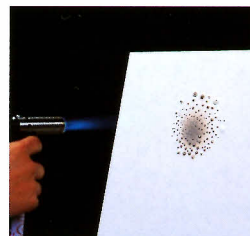
防火認定材料

ナノコンポジットWの塗膜は
燃えにくく、防火認定材料として
認定されています。

NM-8585/不燃材料 QM-9816/準不燃材料 RM-9364/難燃材料



溶剤型塗料



エマルション塗料



ナノコンポジットW

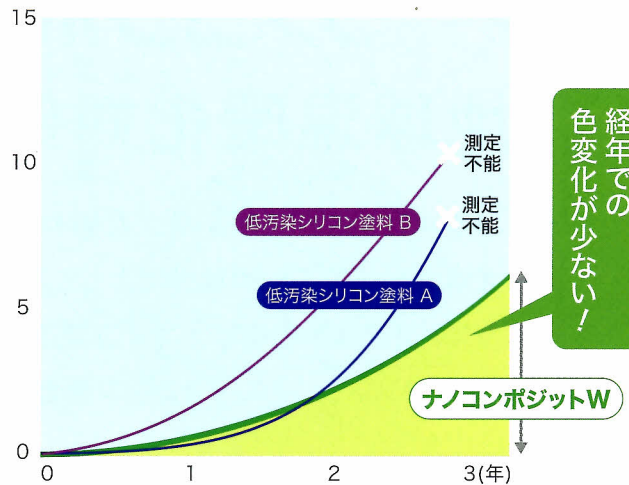
耐候性

ラジカル制御型樹脂による
ナノレベルでの
無機有機コンポジットが
優れた耐候性を発揮。



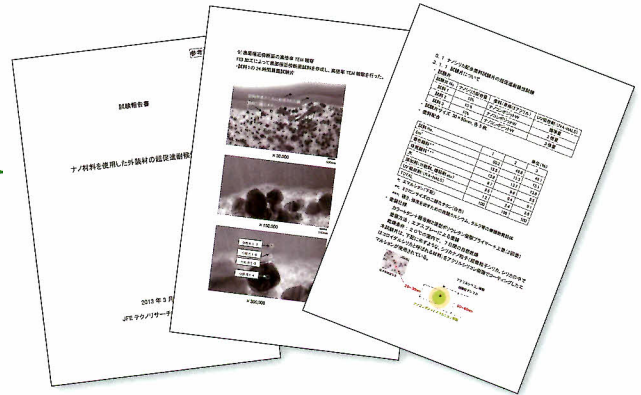
西表島暴露試験場

色差 (ΔE)



経年での
色変化が
少ない！

経済産業省から、
フッ素並みの
耐久性能があると
証明されました。



当社ホームページより閲覧可能です

<http://www.toso-nano.com/20130329.pdf>

一液常温架橋による強靱な塗膜

ナノテクノロジーによる全く新しい架橋システムです。

速乾性

無機成分が均一かつ緻密に分散されていますので、従来の水系塗料では不可能であった速乾性を実現しました。

防カビ・防藻性

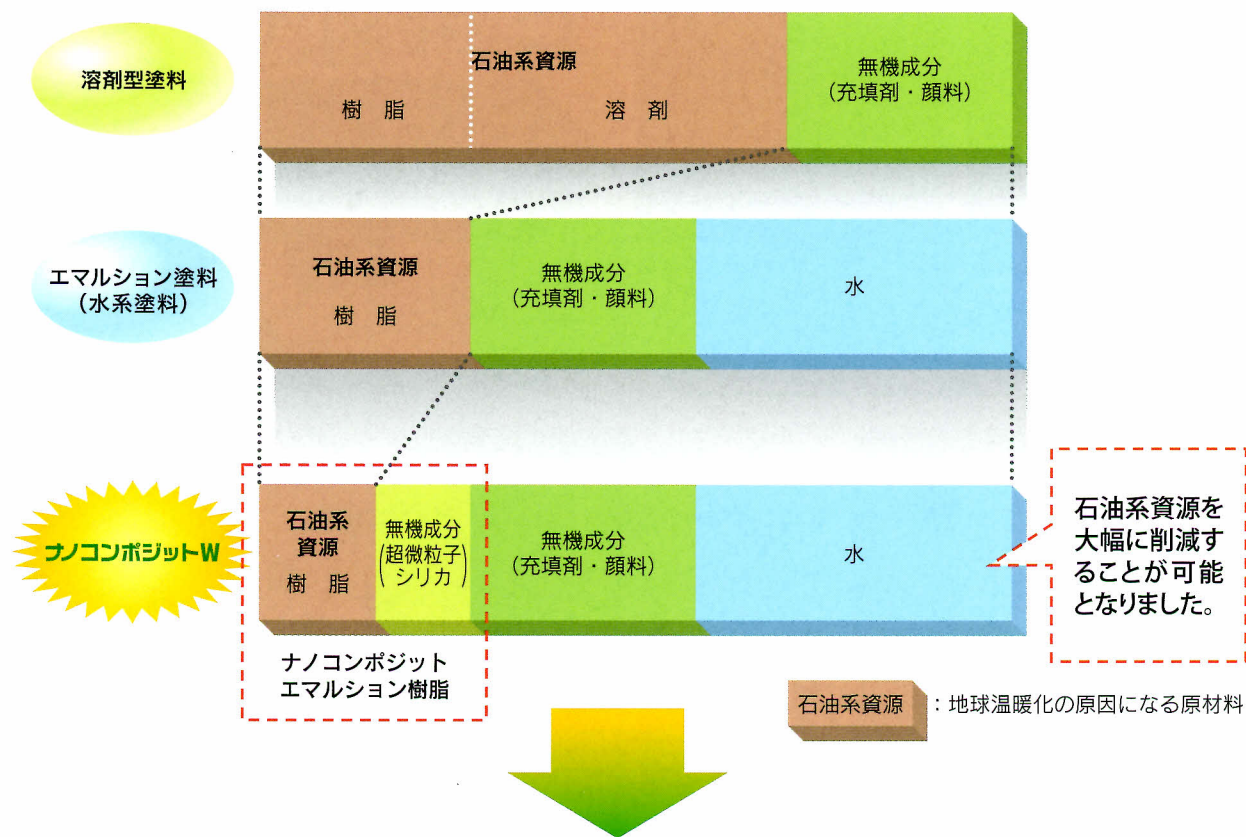
長時間にわたりカビを寄せ付けません。もちろん藻に対しても優れた効果を発揮します。



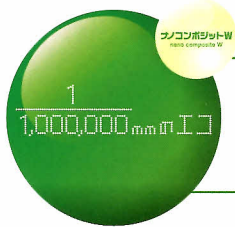
ナノコンポジットWは 地球温暖化対策壁用塗料です。

樹脂は塗料にとって必要不可欠な原材料ですが、その原料（モノマー）を製造する原油精製という工程や焼却によって廃棄する工程において、**多量のCO₂（温室効果ガス）**を発生させます。**ナノコンポジットW**はこの樹脂の量を大幅に低減させた **ナノコンポジットエマルジョン樹脂** を使用する事により、地球温暖化対策を可能にしました。

塗料の内容物比較



石油系資源の使用量を大幅に削減する事により
地球温暖化対策が可能になりました。



ナノコンポジットエマルジョンの研究成果

塗料分野で初の「井上春成」と「工業技術賞」を受賞!

ダブル受賞
第32回
井上春成賞
第57回
工業技術賞



第32回 井上春成賞贈呈式

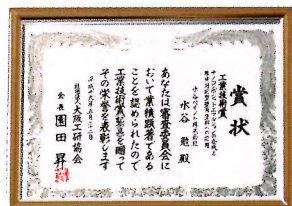
塗料分野で
初受賞
井上春成賞



建築用塗料
で初受賞



井上春成賞とは、大学・研究機関などの
独創的な研究成果を企業が開発した技
術で、わが国の科学技術・経済の発展に
寄与し、福祉の向上に貢献したものが表
彰されます。水谷ペイントはナノコンポ
ジットエマルジョンによって、井上春成賞
を塗料分野で初受賞しました。



工業に関する研究発明(工業化に寄
与したものあるいは将来寄与しうる
もの)ならびに現場技術の進歩改善
に功績のあったものに表彰されます。

産学官連携による開発で共同特許を取得!

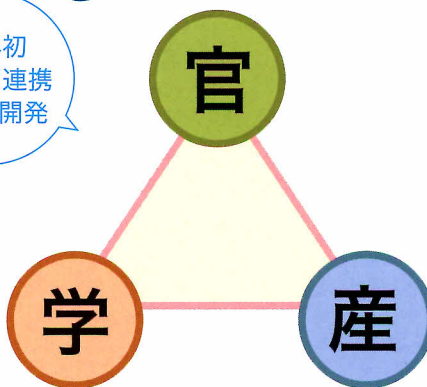
科学技術振興機構との取り組み

- 平成10年
独創的研究成果育成事業採択
- 平成15年
研究成果最適移転事業採択
- 平成19年
特許成立 (特許第3806417号)
(特許第4046451号)

ナノコンポジットエマルジョンは水谷ペイント、
科学技術振興機構、京都工芸繊維大学の産学
官により共同開発されました。

JST 国立研究開発法人
科学技術振興機構

業界初
産学官連携
による開発



京都工芸繊維大学 KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY



経済産業省
からの報告
安全性の証明

「第6回国際ナノテクノロジー
労働環境衛生シンポジウム」で
安全性が報告されました。



ナノマテリアルの危険性が懸
念されたため、経済産業省
がナノコンポジットWについ
て安全性を調査したところ、
問題がないことが証明され
ました。資料が必要な場合
は、お問い合わせください。



標準塗装仕様 塗り替え塗装

1) 複層仕上塗材、薄付け仕上塗材の塗り替え

●旧塗膜の劣化が軽度な場合

| 工程 | 使用塗料 | 調合割合 (kg/缶) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | | |
|-------|---|-----------------|----------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|-------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 |
| 素地調整 | 付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。 | | | | | | | | |
| 下地調整材 | ナノコンポジット フィラーN 16kg | 0.2~0.7 (清水) | 砂骨ローラー | 1 | 0.8~1.2 | 13~20 | - | 16h以上 | - |
| | | 0.5~1.0 (清水) | 中毛ウルローラー | | 0.3~0.5 | 32~53 | | | |
| 上塗り | ナノコンポジットW 15kg | 0.6~1.2 (清水) | ハケ・ローラー | 2 | 0.12~0.18 | 42~63 | 2h以上 | - | 24h以上 |

●旧塗膜の劣化が著しい場合

| 工程 | 使用塗料 | 調合割合 (kg/缶) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | | |
|-------|---|-----------------|----------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|-------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 |
| 素地調整 | 付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。 | | | | | | | | |
| 下塗り | ナノコンポジット シーラーII 15kg | 既調合 | ハケ・ローラー | 1 | 0.1~0.2 | 75~150 | - | 2h以上 | - |
| 下地調整材 | ナノコンポジット フィラーN 16kg | 0.2~0.7 (清水) | 砂骨ローラー | 1 | 0.8~1.2 | 13~20 | - | 16h以上 | - |
| | | 0.5~1.0 (清水) | 中毛ウルローラー | | 0.3~0.5 | 32~53 | | | |
| 上塗り | ナノコンポジットW 15kg | 0.6~1.2 (清水) | ハケ・ローラー | 2 | 0.12~0.18 | 42~63 | 2h以上 | - | 24h以上 |

●旧塗膜の劣化が軽度な場合(パターンを変えない場合)

| 工程 | 使用塗料 | 調合割合 (kg/缶) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | | |
|------|---|-----------------|---------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 |
| 素地調整 | 付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。 | | | | | | | | |
| 下塗り | ナノコンポジット シーラーII 15kg | 既調合 | ハケ・ローラー | 1 | 0.1~0.2 | 75~150 | - | 2h以上 | - |
| 上塗り | ナノコンポジットW 15kg | 0.6~1.2 (清水) | ハケ・ローラー | 2 | 0.12~0.18 | 42~63 | 2h以上 | - | 24h以上 |

●旧塗膜の劣化が著しい場合(パターンを変えない場合)

| 工程 | 使用塗料 | 調合割合 (kg/缶) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | | |
|------|---|-----------------|---------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 |
| 素地調整 | 付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。 | | | | | | | | |
| 下塗り | リフレッシュサフェーサーエポ 16kg | 0.5~0.8 (清水) | ハケ・ローラー | 1 | 0.2~0.5 | 32~80 | - | 3h以上 | - |
| | | 0.6~1.0 (清水) | エアレス | | 0.3~0.5 | 32~53 | | | |
| 上塗り | ナノコンポジットW 15kg | 0.6~1.2 (清水) | ハケ・ローラー | 2 | 0.12~0.18 | 42~63 | 2h以上 | - | 24h以上 |

塗装仕様上の 注意事項

- ※雨水が集中して流れる箇所は(躯体を保護するために)、あらかじめナノコンポジットシーラーIIでタッチアップしてください。
- ※軒天、上裏など水廻りが予想される場所にはナノコンポジットフィラーNを塗装しないでください。
- クラック、ハクリの原因となりますのでシーラー+上塗り(2回塗り)で仕上げてください。
- ※塗付量に清水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

水系アクリルシリコン樹脂クリヤー

天端用保護クリヤー

(水系・艶消し)

ナノコンポジットW施工面専用



ナノコンポジットWを施工した
このような場所に塗装してください。

2) 窯業系サイディングボードの塗り替え

●旧塗膜の劣化が軽度な場合

| 工程 | 使用塗料 | 調合割合 (kg/缶) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | | |
|------|---|-----------------|---------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 |
| 素地調整 | 付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。 | | | | | | | | |
| 下塗り | ナノコンボジットシーラーII 15kg | 既調合 | ハケ・ローラー | 1 | 0.1~0.2 | 75~150 | — | 2h以上 | — |
| 上塗り | ナノコンボジットW 15kg | 0.6~1.2 (清水) | ハケ・ローラー | 2 | 0.12~0.18 | 42~63 | 2h以上 | — | 24h以上 |

●旧塗膜の劣化が著しい場合

| 工程 | 使用塗料 | 調合割合 (kg/缶) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | | |
|------|---|-----------------|---------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 |
| 素地調整 | 付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。 | | | | | | | | |
| 下塗り | リフレッシュサフェーサーエポ 16kg | 0.5~0.8 (清水) | ハケ・ローラー | 1 | 0.2~0.5 | 32~80 | — | 3h以上 | — |
| | | 0.6~1.0 (清水) | エアレス | | 0.3~0.5 | 32~53 | | | |
| 上塗り | ナノコンボジットW 15kg | 0.6~1.2 (清水) | ハケ・ローラー | 2 | 0.12~0.18 | 42~63 | 2h以上 | — | 24h以上 |

標準塗装仕様 新規塗装(コンクリート・モルタル面)

※エフロレッセンスの発生が懸念される場合は、2液マイルドウォールシーラーを塗装してください。

●ざざ波模様に仕上げる場合

| 工程 | 使用塗料 | 調合割合 (kg/缶) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | | |
|---------|---|-----------------|-----------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|-------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 |
| 素地調整 | モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ほこり、油脂類は除去し、水分5%以下(デジタル水分計)、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。 | | | | | | | | |
| 下塗り | ナノコンボジットシーラーII 15kg | 既調合 | ハケ・ローラー | 1 | 0.1~0.2 | 75~150 | — | 2h以上 | — |
| 下地調整材-1 | ナノコンボジットフィラーN 16kg | 0.2~0.7 (清水) | 砂骨ローラー | 1 | 0.8~1.2 | 13~20 | — | 16h以上 | — |
| 下地調整材-2 | ナノコンボジットフィラーN 16kg | 0.5~1.0 (清水) | 中毛ウールローラー | 1 | 0.3~0.5 | 32~53 | — | 16h以上 | — |
| 上塗り | ナノコンボジットW 15kg | 0.6~1.2 (清水) | ハケ・ローラー | 2 | 0.12~0.18 | 42~63 | 2h以上 | — | 24h以上 |

※下地調整材-2は省略する場合があります。

●平滑に仕上げる場合

| 工程 | 使用塗料 | 調合割合 (kg/缶) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | | |
|------|---|-----------------|---------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 最終養生 |
| 素地調整 | モルタル、PC、RC等の下地に付着しているレイタンス、土砂、ほこり、油脂類は除去し、水分5%以下(デジタル水分計)、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。 | | | | | | | | |
| 下塗り | ナノコンボジットシーラーII 15kg | 既調合 | ハケ・ローラー | 1 | 0.1~0.2 | 75~150 | — | 2h以上 | — |
| 上塗り | ナノコンボジットW 15kg | 0.6~1.2 (清水) | ハケ・ローラー | 2 | 0.12~0.18 | 42~63 | 2h以上 | — | 24h以上 |

※下地のテクスチャーパターンにより、上塗り3回塗りを必要とする場合があります。

※シーラーの吸い込みが激しい場合は、再度全面にシーラーを塗装してください。

※旧塗膜が単層弾性で爪で押して弾性が残っている場合は塗装を避けてください。

| 工程 | 使用塗料 | 希釈割合 (清水) | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/m ² /回) | 塗面積 (m ² /缶) | 塗装間隔(23℃) | |
|------|-------------------------------|--------------|---------|------------|-------------------------------|----------------------------|-----------|-------|
| | | | | | | | 工程内 | 最終養生 |
| 素地調整 | 天端部に施工したナノコンボジットWの塗膜を清浄な面にする。 | | | | | | | |
| 上塗り | ナノコンボジットW 天端用保護クリヤー15kg | — | ハケ・ローラー | 2 | 0.08~0.12 | 63~94 | 1h以上 | 24h以上 |

※天端用保護クリヤーは、ナノコンボジットエマルションではありません。従って汚染性能には差が生じます。

汚れにくい機能(超低汚染性)を最大限に発揮するために。

ナコンボジットWは、親水性の塗膜でセルフクリーニング機能が発揮されます。しかし、汚れが集中する部位や雨があたらない環境下では、「汚れにくい」機能が低下したり、発揮するのに時間を要したりする場合があります。また、無機質の汚れに対してはセルフクリーニング機能は期待できません。

汚れの種類

有機質(親油性)の汚れ 自動車排気ガスに含まれる油成分の汚れなど

無機質(親水性)の汚れ さび、黄砂、エフロレッセンス、土砂などの汚れ

汚染が予想される箇所の例とその対策

鉄部(パイプ)などさびの発生が危惧される壁面

写真は塗装前です。



(現象)

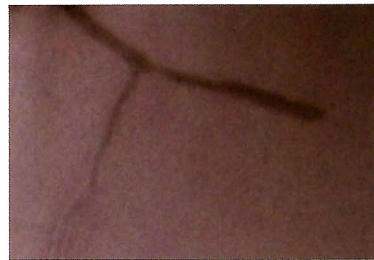
壁面に樋の取り付け金具などがある場合、そのさびにより汚染されます。

(対策)

さびの発生が起らないよう、既存のさびを取り除き、適切な防錆塗装で防錆処理を行います。

シーリング材の可塑剤移行による汚染

写真は塗装前です。



(現象)

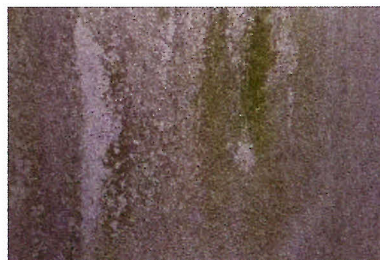
クラックの補修やサイディングボードの継ぎ目などにシーリング材を充填します。このシーリング材の上にナコンボジットWを直接塗装した場合、シーリング材の可塑剤が移行して塗膜表面を軟化させ汚れを付着させます。

(対策)

まずシーリング材を確認してください。可塑剤が移行しにくいタイプがあります。詳しくは弊社営業担当にご相談ください。

カビ・藻による汚染

写真は塗装前です。



(現象)

塗り替えの場合、旧塗膜にカビ・藻が残っていて充分除去せずに塗装した場合、塗装後早い段階でカビ・藻が発生します。

(対策)

旧塗膜にカビ・藻が残らないように高圧水洗、デッキブラシ等で十分に除去してください。次亜塩素酸ソーダにより完全に除去するとより効果的です。(使用する場合は土壌汚染に気をつけてください。)

パラペット部の汚染

写真は塗装前です。



(現象)

陸屋根(屋上)になっている建物で壁面との境目にあるパラペット部では、特に汚れが集中します。

(対策)

建物の内側に雨水が流れるようにパラペットの形状を内側に傾斜させるか、水切りを設置します。

斜壁(セットバック)

写真は塗装前です。



(現象)

集合住宅などの階段屋根部分が斜めの壁になっているところでは、それにつながる壁面に汚れが集中します。

(対策)

斜面の端部に水切りを設置し、斜壁を流れてきた汚水が壁面に流れないようにします。

・上部塗装膜の劣化したチョーキング粉が付着した場合、白筋となることがあります。

上記の他、樹木が建物に隣接している場合、雨が当たりにくいばかりでなく、葉や樹の汁や花粉などが付着したり、虫が巣を作ったり、鳥の糞尿などにより特殊な汚れが付着し除去しにくくなります。

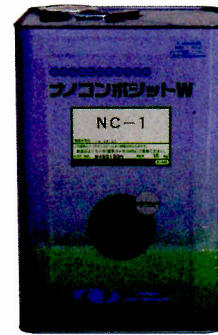
また、立地条件(環境条件)、建築物の形により汚れが集中しセルフクリーニング機能がうまく発揮しないことがあります。汚れが集中することが予想される場合は、水切りを設けるなど対策をおすすめします。

用途

- 窯業系サイディングボードの塗り替え
- 複層仕上塗材の塗り替え
- 薄付け仕上塗材の塗り替え
- 波形スレートの塗り替え

荷姿

- ナノコンポジットW ……15kg
- ナノコンポジットシーラーⅡ ……15kg
- リフレッシュサフェーサーエポ ……16kg
- ナノコンポジットフィラーN ……16kg
- ナノコンポジットW 天端用保護クリヤー ……15kg



注意事項

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
3. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
4. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
5. 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
6. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がり不良等が起きますのでご注意ください。
7. 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
8. 斜壁やパラベットの天端に塗装を行なった塗膜は壁面と比較して耐久性に差が生じる事があります。
9. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為若干の色差異がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
10. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
11. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
12. ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
13. 爆裂したような著しく劣化したサイディング材へ塗装すると意匠性が劣るため、塗装は避けてください。
14. 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
15. 目地部に塗料がたまった場合や、タレが発生した場合はムラ切りしてください。
16. 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きする事がありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
17. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
18. 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
19. 濃い色になると、ローラー塗装時に塗り継ぎ箇所ですら艶ムラを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
20. 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
21. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こす事がある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
22. 塗膜の膨れ、剥離、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
23. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生、艶引けなどにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
24. 著しく結露を生じるような場所では、しみが発生することがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装を行う場合は、強制換気の上、溶剤系塗料での塗装を推奨いたします。
25. 結露等によりしみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
26. パテを仕様する際は外部用パテを使用してください。
27. 旧塗膜が弾性塗材の場合は施工をさけてください。スキンの場合は当社営業担当までご相談ください。
28. 旧塗膜が単層弾性で爪で押して弾性が残っている場合は塗装を避けて下さい。
29. 躯体のクラック等によりエフロッセンスが発生する可能性のある場合は下塗りにリフレッシュサフェーサーエポまたは2液マイルドウォールシーラーを塗装してください。
30. 斜壁には屋根用塗料を塗装してください。
31. 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものを使用してください。
32. 排水溝には捨てないでください。
33. 低温、高湿度時は乾燥が遅くなる場合がありますので、塗装後1～2日は、粉じんなどの汚染物質の付着にご注意ください。
34. 塗装乾燥過程で降雨にあった場合、雨水の集中する部位に於いて、汚れが付着する事があります。適切な養生を行うなどして直接雨が当たらない様な処置をお願いします。
35. 施工部位により、低汚染性が充分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がかからない部位などは、注意が必要です。
36. 濃色や原色に近い色は、塗膜を強くすると色落ちや白い擦過痕が残る場合があります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
37. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分にご注意ください。
38. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、充分に配慮をお願いします。
39. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. 出荷後出来るだけ早い時期にご使用ください。
2. 使用前には充分攪拌してください。
3. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの原因となります。
4. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
5. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
6. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

| | | | |
|--------|------------|-------------------------|--|
| 本 社 | ☎ 532-0006 | 大阪市淀川区西三国4-3-90 | ☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101 |
| 大阪支店 | ☎ 532-0006 | 大阪市淀川区西三国4-3-90 | ☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456 |
| 西日本開発部 | ☎ 532-0006 | 大阪市淀川区西三国4-3-90 | ☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456 |
| 東京支店 | ☎ 101-0032 | 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル | ☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760 |
| 東日本開発部 | ☎ 101-0032 | 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル | ☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760 |
| 北関東支店 | ☎ 348-0038 | 埼玉県羽生市小松台2-705-22 | ☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124 |
| 中部支店 | ☎ 486-0815 | 愛知県春日井市十三塚町3-6 | ☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556 |
| 広島支店 | ☎ 734-0022 | 広島市南区東雲1-13-16 | ☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017 |
| 福岡支店 | ☎ 811-2304 | 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1 | ☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301 |
| 仙台営業所 | ☎ 984-0042 | 仙台市若林区大和町1-22-36 | ☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871 |
| 札幌営業所 | ☎ 003-0006 | 札幌市白石区東札幌6条5-2-6 | ☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464 |
| 工 場 | | 本社・埼玉・中部・広島・福岡 | |

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



06-6391-3039

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

特約店